

1. 開催場所：沖縄県総合福祉センター(沖縄県那覇市首里石嶺町 4-373-1)
2. 開催日時：平成 24 年 8 月 21 日(火) 19 時 00 分～
3. 理事総数：5 名
4. 出席理事：比嘉靖、桑江良貴、土田真也、田村浩介、久貝明人
※田原行英(事業部長)、山城峻(財務部長)、嘉数栄司(財務部員)、久田直希(広報部長)
神山育子(事務局員)、三枝秀平(第 10 回沖縄県作業療法学会会長)

【審議事項】

1) 比嘉会長

① 法人移行手続きについて(ワーキングチームの発足) [承認]

⇒メンバー：比嘉会長、桑江副会長、石川理事、久貝事務局長

② 県士会芸能クラブ発足について(別紙) [承認]

⇒活動していくにあたり、県士会として承認。

③ 失語症友の会よりイベント協力依頼について [承認]

⇒来年度、沖縄で行うイベントの協力依頼があった。

運営委員：比嘉靖氏、田村寿乃氏

2) 久貝理事(事務局)

① 会員動向について [承認]

【入会：17 名】

【退会：2 名】※個人の意思での退会

【退会：37 名】※日本作業療法士協会強制退会に伴う退会

【退会保留中：1 名】

② イベント協力について [審議継続]

・協力依頼元：サン・エージェンシー(広告代理店)

・依頼内容：沖縄県国民健康保険団体連合会(沖縄県国保連合会)主催の介護関連イベントへの協力。

機能訓練指導員(または健康運動指導士)による介護予防体操のレクチャーを行う有資格者・団体の紹介を希望(知恵を貸してほしい?)。※直接の説明しにくるのも可能との事。

⇒来月の理事会に合わせて説明が可能であれば行ってもらい検討していく

3) 田村理事(広報部)

① アンケートについて(別紙)：[審議継続]

第 10 回沖縄県作業療法学会にてアンケート聴取することとなった。現在、広報部で内容を検討しているが、アドバイスをいただきたい(広報部として、目的は会員がつくる県士会としたいため、会員が県士会に期待すること、ホームページの内容などをききたい)。

⇒チェック方式のアンケート

アンケート内容：HP について、広報誌についてなども聞き取りができれば良いと思われる。

【報告事項】

比嘉会長

1. 協会・協議会合同研修会の参加報告

⇒7/28～29 制度改革や東日本大震災での協会活動・各県士会での取り組み報告

事務局

局長：久貝明人

1. 会員の動向・追加施設について

【改姓：2 名】

【異動：10 名】

【異動で所属先不明者：15 名】

【新規追加施設：1ヶ所】 『いきがいのまちデイサービス金武』

住所：〒904-1201 金武町字金武 4336-2F TEL:098-968-5764 FAX:098-968-5765

2. 受理文書について

日本作業療法士会(「会費未納により会員資格を喪失した者の会員継続に係る特例措置について」、「会員未納により会員資格を喪失した者の会員継続に係る特例措置」を適用可能な対象者一覧の送付について、平成 25 年度作業療法推進活動パイロット事業助成制度 募集の案内について) 日本浮腫療法協会(講習会の案内・症例報告集)

他都道府県士会ニュース・会報誌(兵庫、山梨、高知、福岡・長野・愛知・群馬・秋田・神奈川・滋賀・京都・石川・香川・宮城・熊本・愛知・山口・長野)、他 OT 県士会役員改選のご案内(岩手・山口・愛媛)
他 OT 県士会記念式典のご案内(福岡)、日本通所ケア研究会(記事掲載依頼：日本通所ケア研究大会)
暑中見舞い(日本作業療法士協会、東京都作業療法士会、沖縄リハビリテーション福祉学院)
日本訪問リハビリテーション協会(「一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会」法人設立のご案内)
第 6 回言語リハビリ交流のつどいイン沖縄大会(言語リハビリ交流のつどいイン沖縄大会実行委員会開催のご案内)
沖縄県理学療法士協会(広報誌)、福島県理学療法士会(福島県理学療法士会震災支援活動記録誌 発行のご案内)
他団体ニュース等(沖縄県社会福祉協議会、沖縄脊髄損傷者連合会、沖縄県精神障害者福祉連合会、沖縄県身体障害福祉協会、沖縄県薬剤師会)、沖縄コンピューター販売株式会社(新公益法人会県基準ソフトのご案内)
沖縄県歯科医師会(本会主催県民公開講座「沖縄県歯科医師会の考える在宅歯科医療」について：ご案内)
沖縄県福祉保健部(沖縄県障害児通所給付等不服審査会委員の推薦について：依頼、「第 41 回医療功労賞」の推薦依頼について、要介護(要支援)認定を受けている第 2 号被保険者の「認知症高齢者の日常生活自立度」調査結果について、平成 24 年度「沖縄県福祉のまちづくり賞」のご案内及び候補者の募集について(依頼))
沖縄県環境生活部県民生活課(「NPO 等と県民・企業のマッチングイベント」企画提案募集について)
NTTファイナンス(平成 24 年 7 月ご請求分の口座振替の案内)、NTT西日本(平成 24 年 6 月ご請求分の領収書)
沖縄県総合福祉センター(「平成 24 年度沖縄県総合福祉センター救急法講習会の開催について」「沖縄県総合福祉センター自衛消防総合訓練」お知らせと名簿提出)、沖縄県社会福祉協議会(2012 国際福祉機器展の御礼とアンケート結果)
沖縄情報システム株式会社(請求書) 沖縄県セルフセンター(商品カタログ)
セラピストのためのクリニカルクラークシップ研究会(第 6 回クリニカル・クラークシップ 研修会沖縄開催の報告)
オージー技研株式会社(福岡支店移転及び名称変更のご案内)
働おきな女性財団(講習会の案内：自分らしくあるために～みんなが自由に幸せになれるジェンダー、DV のない社会を目指して、自己発見セミナー：再就職を希望する女性向け)
沖縄県男女共同参画センター(ていりるパソコン教室の案内：Excel、初心者)

3. 日本作業療法士協会強制退会者への対応について

(1)2012 年 6 月 19 日付けの「2011 年度強制退会者(確定)一覧の送付について」

5 月 31 日をもって強制退会となった会員が確定したお知らせでした。

沖縄県所属の強制退会者は 54 名で内訳は、沖縄県作業療法士会所属：39 名、沖縄県作業療法士会退会者：10 名、沖縄県作業療法士会未入会者：5 名でした。

⇒事務局としては、沖縄県作業療法士会所属の会員 39 名のうち所属先や連絡先がわかる会員は 32 名でした。うち 3 名はすでに今年度分を含めた県士会費を納入済でしたので、財務部より今年度分の県士会費は個人口座へ返金という方法にて対応。残りの 29 名には、電話にて『①日本作業療法士協会強制退会になっている事 ②それに伴い沖縄県作業療法士会も退会になる事 ③県士会費に関しては、今年度分を除いたコンビニ払込書を再発行する事 ④日本作業療法士協会への再入会方法 ⑤是非日本作業療法士協会へ再入会し、その後県士会へも入会して欲しいという事』をお伝えしました。

所属先不明者や個人の住所・連絡先がわからない 7 名に関しましては、今年コンビニ払込書も発行できていない会員でしたので、未対応となっています。

(2)2012 年 8 月 1 日付けの「会員未納により会員資格を喪失した者の会員継続に係る特例措置」を適用可能な対象者一覧の送付について」

これは会費 1 年分(平成 23 年度分)のみ未納により会員資格を喪失した者に対しては、昨年度と今年度の会費を納入すれば会員継続が可能となる特性措置の案内でした。対象者の提出期限は 9 月 25 日。

そこで、「今回の特例措置を提起用可能な対象者」と「2 年以上の未納により特性措置の対象外」と分けた会員資格喪失者の一覧について改めて送付がありました。

1. 「会員継続特例措置対象会員」：28 名

- ① 現時点で日本作業療法士協会へ会員継続手続きがまだの元県士会員：15 名
- ② 現時点で日本作業療法士協会へ会員継続手続き中の元県士会員：6 名
- ③ すでに個人の意思で県士会退会手続き済みの元県士会員：5 名
- ④ 県士会未入会者：2 名

2. 「会員喪失確定会員」：26 名

- ① 日本作業療法士協会退会に伴い、県士会も退会になった会員：15 名
- ② すでに個人の意思で県士会退会手続き済みの元県士会員：8 名
- ③ 県士会入会者：3 名

⇒事務局としては、1. 「会員継続特例措置対象会員」の①の会員様に対して、所属先・連絡先のわかる 11 名には電話にて『①今回日本作業療法士協会の会員継続に係る特例措置対象者であること ②日本作業療法士協会へ再入会手続きを特例措置を受ける事のできる期限の 9 月 25 日にして欲しい事』をお伝えしました。

→うち 1 名は本人不在の為、再度連絡・折り返し電話依頼するも連絡とれず。現時点ではお伝えできていません。

※今回の特例措置について、わからなかったとおっしゃる会員様もいらっしゃいました。

残りの 4 名に関しましては、所属先も個人連絡先も不明の為お伝えできませんでした。

4. 沖縄県障害児通所給付等不服審査会委員推薦について：発達領域で人選中。
5. 会員管理システム及び個人情報対策講習会参加について：
日本作業療法士協会事務局にて8月25日(土)・26日(日) 当士会から事務局長参加
6. 法人移行進捗状況：県庁にて9月5日(水)に個別相談予定。
7. 理事・部長名刺について：各理事・部長へ配布。
8. 沖縄県総合福祉センター消防訓練について：
9月10日(月)：自主訓練 9月24日(月)：総合訓練
事務員(上原さん)に参加してもらう為、9月11日(火)及び25日(火)の出勤を変更

財務部

部長：山城峻

1. 会費について(7月1日～7月31日)

会費収入195件(県士会指定口座への直接納入：6件、コンビニ納入：189件)
7月中のコンビニ納入は72件(口座振込は8月)

2. 会費納入率(7月末時点)

昨年度：40.8% 今年度：54.7%

3. 会計打ち合わせ：7月24日(火)

⇒県士会費納入に関し、他県にて自動引き落としでの県士会費納入を行っていたが、残高不足等で納入が滞ってしまう等のトラブルが発生しコンビニ納入へ切り替えた事例が出ている。

学術部

部長：石川丈

特になし

教育部

部長：土田真也

1. (6月審議事項より)「沖縄県医療機能調査」の調査項目についての申し入れ

沖縄県福祉保健部医務課長宛に要望書提出済み(7月25日付け)

2. 現職者共通研修①・事例検討会① 7月22日開催済み

受講者数

現職者共通研修①

座学・7講座：47名、143講座

資料：受講者数の推移

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
受講者数	93	94+52	81	76	47+12月
延べ受講講座数	268	353	237	232	143+12月

※ 20年度は前年度までの読み替えあり、21年度は新型インフルエンザの影響で1講座を後日開催、受講可能講座数が増えたため22年度に影響あり。今年度はまだ1講座が未開催、など一律に比較は出来ないが、昨年度から受講者減少の傾向を感じる。

※ 受講者アンケートより(対象が「日曜の研修会受講会員」に偏っているが)

- ・ 開催日時について、参加しやすいのは
土曜昼間7、日曜昼間27、平日夜8、土曜夜3
- ・ 勤務先の休日は
土日祝日は概ね休み9、日曜祝日は休み8、日曜はお休み10、不定で概ね週休2日8、
その他3(水曜休み、土日のみ休み、当番製で日祝半日が各1ずつ)

→日曜出勤などが始まっている身障系施設の受講が減少してきている印象はあり。

次年度、共通研修の講座自体の見直しの予定もあり(12月の協会会議で提示される予定)、動向を見極めながら対応を検討したい。

効率よい運営は日曜日の1日開催。ただし、受講機会の確保も重要。対応案として、1日集約開催の年度と、平日夜の分散開催の年度を交互にもつ。医療福祉チャンネルの活用の推進(県士会としての凝集性、受講料収入の確保の点ではデメリットもあるが)。

事例検討会①

事例検討：2名

事例報告：1名

会計

現職者共通研修①

収入：143,000円(受講料)

支出：107,921円(旅費交通費45,150円、会議費11,099円、通信運搬費1,610円、
消耗品費5,062円、諸謝金45,000円)

事例検討会①

収入：3,000円(受講料)+80,000円(県士会補助)

支出：6,000円(旅費交通費1,000円、諸謝金5,000円)

3. OT 協会生涯教育基礎ポイントシール

23 年度分の集計、残部の返却→済み

24 年度分の申請→済み→すでに到着済み。

県民健康フェア従事者には「士会裁量ポイント」配布しました。

士会裁量ポイントは 2 重配布がないように注意しながら適宜の配布を心がけたい。

→各部から該当者いればご連絡ください（直近では OT フェア、県学会運営委員・座長・査読者などでしょうか？）

事業部

部長：田原行英

1. 県民健康フェアについて

⇒8/19(日)沖縄コンベンションセンターにて開催

来場者数（主催者発表）：約 2000 名

OT のブースでは、自助具・パネル展示、相談コーナーを設置

相談コーナーへは当事者や家族、学生からの相談があった。

次年度も継続してイベントを開催する予定となっており、来場者が見やすい配置や体験を増やす、各領域のスタッフの確保が課題

2. OT フェアについて

⇒審議事項〔承認〕：OT フェアに向けてポロシャツを作成したい。予算立てをしていない為、検討して頂きたい。⇒予算立て可能。ワッペン等でも良いのではないかと意見が挙がる。事業部にて再度検討。

⇒サンエー西原シティにて 10/14（日）に開催。時間帯は調整中

広報部

理事：田村浩介

⇒OT フェアについて、事業部と連携し広報を進めていく。OT フェア時にリーフレットを配布出来るようにしていく。

福利部

部長：桑江良貴

⇒OT 県学会の託児所案内広報中。

渉外部

理事：比嘉靖

特になし。

保険部

部長：上江洲聖

特になし。

その他

学会長：三枝秀平

県学会について：事前申し込みの延期を行いました。

学会 1 日目に山根寛副会長が WHOT についての説明会を実施（16:30 予定）